

## 平成15年度第13回理事会議事概要

日 時 平成16年3月26日（金） 14:50～15:30

場 所 特別会議室

出席者	理事長	田 中	潔
	理事（企画・総務担当）	藤 原	敬
	理事（森林研究担当）	桜 井	尚 武
	理事（林業・木材産業研究担当）	池 田	俊 彌
	監事	今 村	清 光
	監事	井 上	敏 雄
	企画調整部長	石 塚	和 裕
	総務部長	周 藤	眞
	事務局（企画科長）	藤 井	智 之
	事務局（総務課長）	加 藤	秀 春

### 1. 開会

### 2. 議事

#### （1）平成16年度年度計画について（案）

（藤井企画科長）

<資料1：独立行政法人森林総合研究所平成16年度計画（案）により説明>

（井上監事）

年度計画（案）の前書きについて、1項目目にある研究課題の重点的推進の中で、新たに7課題の研究プロジェクトを開始するとあるが、後の計画項目の中でこれらがどのように位置付けられているのか分かるような形になっていないと思うが。

（藤井企画科長）

プロジェクトとしての課題であり、新しい実行課題ではないので、後の計画項目に明記していな

いが、このまとめで明記した課題については、どの分野で取り組むかを明らかにしている。

(今村監事)

8項目目の長期的展望に関することは、最初のパラグラフの後段に書かれているので必要はないのではないと思うが。

(池田理事)

長期的展望という項だけについては、最初のパラグラフの部分だけで8項目目には必要はないと思うが、意図は次期計画について検討を行うということを明記したものである。資料の体裁の問題だと思うので、研究課題、研究運営、業務運営の3つのジャンルに分けて、各項目の番号を削除してみてもどうか。

(今村監事)

3項目目の研究成果の公表と活用、5項目目の広報体制の強化は別のものなのか。普及体制として、1つに括れるのではないか。

(周藤総務部長)

研究成果の公表と活用に関しては、主要な研究プロジェクトの成果について積極的に公表していくという意志を明らかにしたものであり、広報体制の強化については、ホームページ等で研究所の活動内容一般について情報を提供していくということである。

(藤原理事)

分かりやすくする意味で研究課題、研究運営、業務運営の3つのカテゴリーに分けているが、研究課題の中でこういうプロジェクトが終わったということのアピールの意味で成果を公表し、研究運営の中にもポイントとして終了したプロジェクトを目立たせるということであり、情報を共有したいということである。

(桜井理事)

広報体制の強化の記述の中で、研究成果情報の普及効果に関するアンケート調査によるフォローアップを行うとあるが、アンケート調査以外にもあるので「アンケート調査」の語は削除して良いのではないか。

(井上監事)

アンケート調査は今年度行っているのだから、フォローアップと書くのみで年度計画の中には表記する必要はないと思う。

(今村監事)

8項目目の長期的展望に関することについて、次期計画の検討を明記したいということならば、1つの業務として他の項目、例えば業務運営の中に位置付ける方が分かり易いように思う。

(石塚企画調整部長)

全体をはじめとし、カテゴリー分けや番号の付加をやめて、それぞれの項目をそれぞれ1つの文章にしてしまうのはどうか。キーワードでまとめようとするとなりにくくなるようなので、項目を文章化すれば表題として分かりやすくなると思う。

(今村監事)

項目で表現すると、分かりやすいようでそれぞれの対立項目がはっきりしてしまい、分かりにくい部分もでてくるので、それは1つの方法として良いと思う。

(田中理事長)

いろいろと議論してもらったが、今回の理事会における議論を考慮し、年度計画の最初の2枚を修正した上で年度計画の提出を了承することとする。

なお、今回提示された資料の取り扱いについて、公表は大臣の受理以降とする。

次回平成16年度第1回理事会は4月23日（金）を予定する。

### 3. 閉会